

森トラスト株式会社 JWマリオット・ホテル奈良



宿泊・温浴施設

贈呈理由

ヒートポンプと給水予熱システムを有効活用した設備構築で省エネルギーを実現



JWマリオット・ホテル奈良

マリオット・インターナショナルの最上級ホテルとしてお客さまにラグジュアリーな時間を提供

JWマリオット・ホテル奈良は、森トラスト株式会社がホテル部分の開発を担い、2020年7月22日に開業した。マリオット・インターナショナルの最上級ラグジュアリーブランド「JWマリオット」としては、日本初進出。マリオット・インターナショナルの創業者の哲学「The JW Treatment (JWならではのおもてなしの心)」を受け継ぎ、お客さまへ真のラグジュアリーを提供することに情熱をもったホテルアソシエートの育成も図っている。

JWマリオット・ホテル奈良は、ラグジュアリー体験を楽しむお客さまを、心にふれる温かいおもてなしでお迎えするべく、奈良の伝統からインスピレーションを受けた邸宅スタイルの

客室158室(スイート16室を含む)を備えている。また、マルチコンセプトのフードシアター、特選日本料理レストラン、ロビーラウンジ・バーなど、さまざまな飲食サービスをご用意。24時間オープンフィットネスセンターや、屋内プールでリフレッシュしたり、スパではボディ・フェイシャルトリートメントに身を委ねたりと、ラグジュアリーホテルならではの洗練された空間でくつろぎの時間を堪能できる。

ヒートポンプシステムの採用によりラグジュアリー空間と環境負荷の低減を両立

JWマリオット・ホテル奈良は、春日大社や興福寺・東大寺などの歴史的価値の高いエリアにアクセスのよい立地であることや、マリオットブランドが掲げる持続可能性と社会的影響の観点から、ラグジュアリー空間の創設



ロビー

と環境負荷の低減の両立が最重要課題となっていた。

ヒートポンプ給湯機は、温水ボイラやガス給湯器より高効率であり、経済性・省エネルギー性・環境性に優れる。特にホテルは、客室での給湯使用時に即座にお湯が出るよう保温循環回路を組み込む必要があり、給湯負荷が大きくなる傾向が強い反面、ヒートポンプ給湯機の運転割合を高めることができるため、省エネルギーや省CO₂のメリットの恩恵を最大限に受けることができる。

JWマリオット・ホテル奈良では、ヒートポンプ給湯機による給水予熱システムを採用し、ボイラの運転割合を低減することで、エネルギー消費量とCO₂排出量の削減に貢献した。また、空調には、高効率な空冷チャillerも導入し、さらなる省エネルギーや省CO₂を図っている。

同ホテルは今後も環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、ポジティブで持続可能な影響力を生み出していく。



セントラル



ヒートポンプ給湯

JWマリオット・ホテル奈良

所在地: 奈良県奈良市三條大路1-1-1
建築設計: 大成建設関西支店
建築施工: 大成建設関西支店
設備設計: 株式会社設備設計研究所
設備施工: 株式会社 さんでん
延床面積: 18,145.96㎡
竣工: 2020年新設

■ 設備概要

業務用エコキュート40kW×2台 [三菱電機]
空冷ヒートポンプチャiller 708kW×3台 [東芝キャリア]